



学校だより 3月

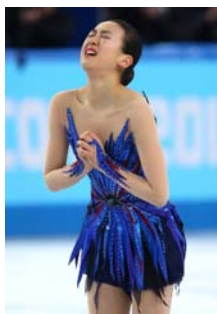
四箇郷北小ホームページ <http://www.wakayama-wky.ed.jp/sikagokita/index.html>

メダルのない“金メダル”

学校長 貴志 年秀

4年に一度行われるオリンピック。今回のソチのように日本との時差の大きい国で開催されると応援が大変です。深夜に放映される競技を観るために、寝不足になったのは私だけではなかったはず。さて、長野オリンピックに続く8個のメダルを獲得した日本でしたが、メダルを手にした選手にも、惜しくもメダルを逃した選手にも、それぞれにドラマがあった17日間でした。

そんななかで、やはり一際大きな輝きを放ったのが女子フィギュアスケートの浅田真央さんではなかったでしょうか。メダルを手にするにはできませんでしたが、金メダルに匹敵する、いやそれ以上のステキなものを彼女から教えてもらった様な気がします。



ジュニア時代から世界のトップに立ち続け、世界選手権やグランプリファイナル優勝等、数々のタイトルを取ってきた彼女にとって、唯一手に入れていないものはオリンピックでの金メダルでした。

バンクーバーで涙の銀メダルに終わって4年、大好きだったお母さんの死、そして、常にプレッシャーのなかで試合に出続ける日々を送りながらソチオリンピックを迎えました。

「金メダルを！」

日本中の期待を一身に背負った真央ちゃん。そのプレッシャーたるや半端なものではなかっただろうことは容易に想像がつかます。そんななかで迎えたSP（ショートプログラム）、その重圧は彼女の心も体も押しつぶしてしまいます。冒頭のアクセルジャンプで転倒すると、予定していたすべてのジャンプでミス、16位という金メダルはおろかメダルが絶望的な結果になってしまいました。

「心が折れそうになる」という表現がよく使われますが、その時の真央ちゃんには、喜怒哀楽

のどれにも当てはまらないからっぽの心がそこにあったと言います。

茫然自失で絶望の淵にいた真央ちゃんに、次の日に行われるフリー演技のことを考える余裕はなかっただろうと思います。事実、その夜の練習では、簡単なジャンプでもミスの連続、抜け殻のような姿でソチのリンクであえいでいたのだそうです。

そこから次の日の試合まで約10時間、彼女は自分自身との対話を続けていました。

「バンクーバーから4年間やってきたことは何？ 一から見直したことを出さない！」 「支えてくれた人に恩返ししたい！！」

その思いが彼女を突き動かしました。佐藤コーチからの

「何かあったらリンクに助けにいくから！」という言葉も彼女の背中を強く押ししてくれたのだと言います。

そして迎えたフリーの演技。彼女の指定席、最終組ではない12番目の演技でしたが、課題であったアクセルジャンプを見事に決め、今まで女子選手の誰もががなしえなかった8種類のトリプルジャンプを完璧に跳びきりました。結果はフリーの自己ベストを大きく上回る142・71点をマーク。見事な失意の底からの復活でした。

演技直後、あふれる涙で白い天井を見上げたその姿に世界中の人々が感動しました。

「メダルという結果を残せなかったので、あと残されたのは自分の演技だけでした。そこで最高の演技ができて良かった。たくさんの人が支えてくれたので、恩返しできた」

この真央ちゃんの強さはどこから来たものなのでしょう。

真央ちゃんの頑張りには“金メダル”。

このメダル、形はないけど世界中の人々から真央ちゃんに贈られたものです。

しか北の子どもたちにも、長い人生、これから先、様々な試練（しんどいことやつらいこと）が待ち受けると思います。

でも、どんなときでも大切なのは努力すること。そして、真央ちゃんのように、自分の力を信じてひたむきに取り組むことを忘れないでほしいと思います。

3月行事

3/3	月	挨拶一声運動 登校指導 学校評議員会
4	火	卒業式練習開始 地区子ども会 (集団下校) 子ども守り隊(保体部) 体育施設開放委員会
5	水	委員会 登校指導 集団登校開始 PTA 合同部会・委員総会
7	金	6年奉仕作業
8	土	子どもセンター (和菓子づくり教室)
10	月	紀之川中学校卒業式
13	木	移動図書 (15:20~16:20) キャベツくん 読み聞かせ
14	金	大掃除
15	土	子どもセンター (卓球教室)
18	火	給食終了 6年 卒業式準備 のため 1、2、3、6年13:30頃下校 4、5年14:40頃下校
19	水	お別れ式 1、2、3年9:00頃下校 卒業式 4、5、6年12:00頃下校
20	木	給食終了 1~5年
21	金	春分の日
24	月	終業式
25	火	春季休業
27	木	移動図書 15:20~16:20
31	月	離任式 1から4年9時過ぎ下校 5年11時過ぎ下校
4/8	火	新任式 始業式
9	水	入学式

※変更するときもあります。

※4月は主な行事です。



○1年の始まりは3月??

平年の1年は365日です。地球が太陽の周りを一周する日数で決められています。しかし、ぴったり365日ではありません。6時間くらいのずれがあります。そのため、4年に一度そのずれを調整するために1日多くしています。閏年です。そして、その調整の月が2月になっています。ところで、どうして途中の2月で調整するのでしょうか。そうです、大昔の古代ローマの暦では3月が年間のスタートの月だったのです。

○卒業式

6年生の児童77名は、あと3週間ほどで四箇郷北小学校を卒業します。この一年間、四箇郷北小学校の最上級生としていろいろな場面で活躍してくれました。委員会・1年生のお世話・縦割り活動・学級学年での活動を通して身についた力等大きく成長しました。小学校で過ごせる日数はわずかですが、自分の目標をもって過ごし、最後の小学校生活を楽しんで欲しいと思います。

○心を込めた「6年生を送る集会」！！

2月21日(金)は「6年生を送る集会」でした。どの学年もしっかり練習し、創意工夫を凝らし、心のこもったお祝いをしました。保護者の皆様も多数見学に来てくださいました。中には、感涙にむせぶ方もおられました。保護者の皆様本当にありがとうございました。

○3月5日に合同部会・委員総会

育生会行事もいよいよ最後の会をむかえました。合同部会では、本年度の反省等を中心に話し合っていたく予定。結果は委員総会で報告され、育生会の今後の大切な指針となります。お忙しいと存じますが、参加方よろしくお祈りします。

○終業式が終わると春休みに入ります。

春休みは、進級、進学のため、気持ちがあわつてしまう時期です。こんな時、交通事故・水の事故等が多く報告されます。新学年を元気で明るくむかえるためにも、危険な遊びをせず、規則正しい生活をしましょう。